

川口市立戸塚北小学校



(学校公開日 6月13日)

戸塚北小学校では

「自分の思いを友達に伝えることができる児童の育成」をテーマに研究し、各学年で様々な内容項目について授業を行いました。

各学年の授業の様子



自分の思いを友達に伝えたい
くなるような授業展開や発
問の工夫をしました。



発問
「同じ行動でも褒められる
こともあれば、叱られるこ
ともあるのは何が違うの
でしょうか？」

1年生 C 規則の尊重
「どうしてかな」

もし、学校にきまりが
1つもなければどうな
るかについても考えま
した。



「周りの人に迷惑をかけ
るか、かけないかが違
う。」
「学校にきまりがなければ、安全ではなくなる。」



発問
「白鳥、あひる、かめの三匹が
「すこしも楽しくない」と思っ
たのはなぜですか？」

2年生 B 友情、信頼
「おかげないいすさん」

児童
「いつもあそんでいた
ともだちがいない」
「みんながそろわない
と楽しくない」

ともだちと仲良く遊ぶに
は、どうしたらよいかに
ついて話し合いました。



板書の構造を工夫したり、ア
ンケートを可視化したりする
ことによって、児童がより考え
を深められるように工夫しま
した。



発問
「私が思い切って立ち上がり、手
に力を入れてみんなに向かってい
った時の気持ちってどんな気持ち
だっただろう？」

3年生 D 自然愛護
「ごめんね、サルビアさん」

発問
「『花の気持ちになって』と
お母さんに注意されて気づ
いた『大切なこと』とは、
何でしょう。」



児童「自分のことばかり
優先するのではなくて、
お花の気持ちも考えて
行動しなければなら
ないと気づいた。」

4年生 C 公正、公平、社会主義
「決めつけないで」

児童「ちさとさんはがんばっているか
ら、応援したい。」
「最初からいつものちさとさんの様子
で決めつけちゃって、頑張りをしっ
かり認めてあげられなくてごめん。」



振り返りの視点を明確に
し、これまでの自分や今日
の気づき、違う立場を受け
入れることについて考えら
れるようにしました。



児童「相手の立
場も考えてあげ
ることが大切だ
と思う。」

5年生 B 相互理解、寛容
「すれちがい」

発問
「どうすれば、2人は元
のように仲良くなることが
できるかな？」



発問
「帰り道に自転車事
故の看板を見た悠太
の心の中は、どんな気
持ちでいるでしょう
か。」



「考え、議論する道徳」
の充実に向けて、主人公の
揺れる気持ちについて話し
合う時間を多くとりまし
た。

6年生 C 規則の尊重
「先着100名様」

児童
「やっぱり限定カ
ードがほしかった。
もやもやする。」
「命にかえられる
ものはない。人にけ
がをさせなくてよ
かった。」

